

# ひょうごらくのうメモ

# 5

2023MAY



表紙:『みけつ国のあわじ牛』洲本市 渡辺 智美さん  
第40回らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール応募作品より

フルカラー版は組合ホームページから  
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058  
西神文化センター3階

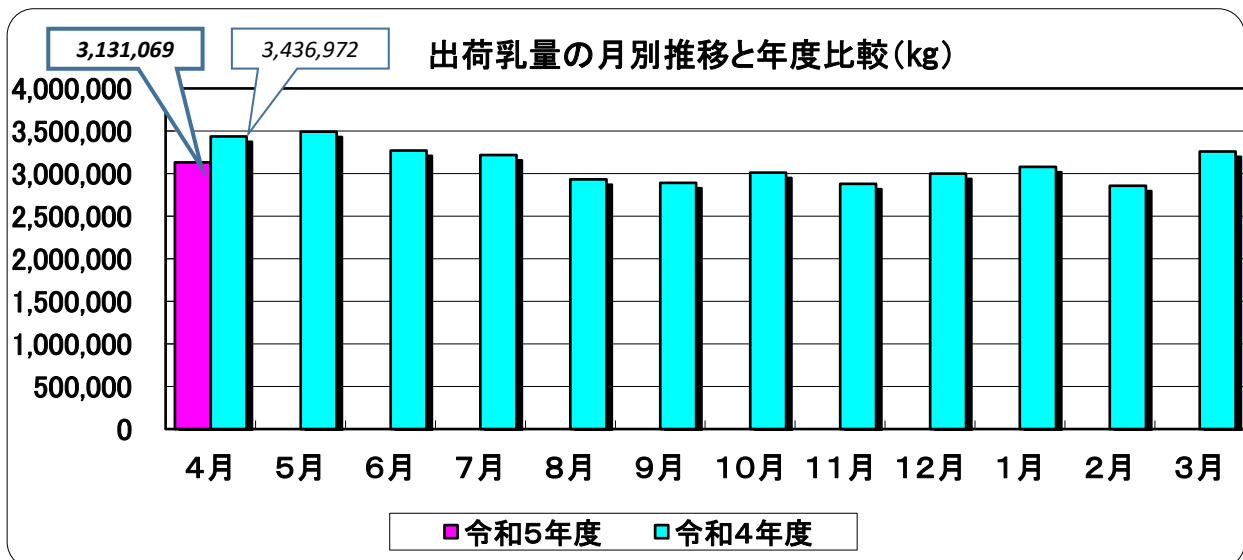
# 生乳生産統計

## 1. 全国(令和5年3月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	4年	4月	657.0	102.0
令和	4年	5月	678.5	101.2
令和	4年	6月	642.9	100.4
令和	4年	7月	645.5	101.0
令和	4年	8月	626.9	99.8
令和	4年	9月	606.2	98.8
令和	4年	10月	621.9	98.6
令和	4年	11月	596.9	97.2
令和	4年	12月	621.1	96.2
令和	5年	1月	624.3	96.0
令和	5年	2月	570.4	95.5
令和	5年	3月	641.1	95.3
令和	4年度累計		7,532.5	98.5

## 2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 5年4月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	569,354	89.0	←	←	20
播州地区	412,715	73.2	←	←	17
丹但地区	315,880	94.8	←	←	14
淡路地区	1,833,120	96.4	←	←	84
合 計	3,131,069	91.1	←	←	135



## 理事会報告

令和5年5月10日(水)、第1回理事会をWEB会議方式により理事5名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和4年度生乳計画生産進捗状況、令和4年度組合員の異動状況を報告し、次の事項について協議した。

①令和5年度通常総会開催日程について

開催日：令和5年6月29日(木) 13:30 (13:00受付開始)

開催場所：神戸市西区伊川谷町潤和1058

西神文化センター4階 大ホール

コロナ5類移行を受け以前のおり通常開催とし、来賓についても行政をはじめとして乳業メーカー等関係先に案内を行う事とした。

②総会までのスケジュールについて

決算監査会、第2回理事会、地区別懇談会等の日程を調整した。

③令和5年度事業計画・収支予算組立について

スリム化を加味した事業計画、収支予算を人員削減に伴う現状に照し合せ課題等の調整を含め、検討を進める事で継続協議とした。

その他の事項として、通常総会議長について、全酪連・推奨配合飼料の取組について話し合った。

※地区別懇談会の開催予定

6月13日(火) 淡路地区 淡路島牧場案内所2階

6月19日(月) 丹但地区 丹波市内・調整中

6月20日(火) 阪神・播州地区 小野市内・調整中 共に13:30より

◆ 主な行事予定 ◆

5月

18日 全国酪農協会・役員候補者推薦委員会(WEB)

22日 内部管理職会議

23日 兵庫県酪農女性部令和5年度通常総会

23日 令和4年度決算監査

25日 近畿生乳販連販売委員会・理事会(WEB)

令和5年度乳用牛群検定全国協議会理事会  
・通常総会・勉強会(東京)

6月

1日 職員会議(WEB)

日本ホルスタイン登録協会理事会(東京)

2日 全国酪農協会理事会(WEB)

5日 第2回理事会(WEB)

12日 全酪連近畿中四国酪農団体協議会三役会・  
令和5年度通常総会・研修会(新大阪)

## 参考情報

## 淡路家畜市場情報

## 令和5年4月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	23	157,539	246,400	110,000			54
前回	12	115,317		183,700	31,900			56	42,222	36.6%	
前年	15	165,953		215,600	114,400			56	-8,414	-5.1%	
オス	今回	14	161,307	180,400	107,800			56			
	前回	11	111,100	226,600	2,200			55	50,207	45.2%	
	前年	13	197,915	229,900	160,600			55	-36,608	-18.5%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	4	17,050	18,700	15,400			49			
	前回	6	11,550	19,800	1,100			48	5,500	47.6%	
	前年	4	70,125	91,300	36,300			54	-53,075	-75.7%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和5年3月第4金曜日・前年は令和4年4月第2金曜日

## 令和5年4月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	14	124,143	212,300	9,900			57
前回	23	157,539		246,400	110,000			54	-33,396	-21.2%	
前年	9	128,700		173,800	70,400			50	-4,557	-3.5%	
オス	今回	10	159,940	198,000	123,200			58			
	前回	14	161,307	180,400	107,800			56	-1,367	-0.8%	
	前年	18	165,244	247,500	9,900			52	-5,304	-3.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	1	55,000	55,000	55,000			54			
	前回	4	17,050	18,700	15,400			49	37,950	222.6%	
	前年	2	98,450	107,800	89,100			48	-43,450	-44.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和5年4月第2金曜日・前年は令和4年4月第4金曜日

# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	5	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961
1		15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
2		15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
3		32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
4		34,608	39	43,205	90	47,594	15	57,535.106	5,482
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	112,105	13,795
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

## 令和5年4月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（牝・牝系・他）				初妊牛（牝・牝系・他）				経産牛（牝・牝系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
北見	4/3	523	449	6	281	7	402	300	357				
十勝	4/10					638	993	273	519	143	666	110	272
十勝	4/13	697	438	2	256								
北海道	4/14	48	325	17	177	116	722	96	476	24	481	125	300
豊富	4/14					315	816	275	475	14	440	110	230
北見	4/19					332	888	131	443	4	344	165	234
根室	4/20					492	957	229	538				
釧路	4/21					253	893	11	487	2	624	220	422
十勝	4/25					575	1,113	152	517	46	814	110	391
釧路	4/28	182	421	33	286								
合計	10回	1,450	449	2	266	2,728	1,113	11	502	233	814	110	296
前年同月成績	10回	1,476	570	2	282	2,552	1,222	109	590	354	834	69	293
前月合計成績	10回	624	440	4	253	3,167	1,311	100	592	237	722	70	290

## ホクレン乳牛市場開催日程

5月12日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	6月2日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富) 育成
5月15日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	6月8日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
5月18日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	6月9日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成
5月19日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	6月12日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
5月22日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	6月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
5月23日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	6月16日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)
5月24日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	6月21日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
5月30日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	6月22日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
			6月23日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
			6月26日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成

## ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新米4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

# 北海道乳牛産地情報

(令和5年5月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横遣い	札幌管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で96.7%、苫小牧管内月計で93.6%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬分塊が中心となり、資源が少なくなることを受け、価格は軟調に推移するものと予想されますが、雌雄選別腹の需要が高まっていること、資源が少くないという点もあり、腹の内容によっては、引き合いがかなり強くなっている状況です。経産牛については、産乳の少ない経産牛についてはやや強含みに推移するの見込みです。
	初妊牛	4.5~5.5	弱含み	
	経産牛	3.5~4.5	やや強含み	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横遣い	根釧管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、根釧管内月計で94.2%、中標津管内月計で94.7%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬分塊となり、根釧地区において、引き合いが強く、資源の流れも早くなっております。産先購買において分塊前2ヵ月以内の資源は既に売られてしまっている状況です。また、資源の中心となることから、全体的な価格は弱含みに推移する見込みです。上クラスは60万円前後になるものと予測されます。腹別ではF1腹・雌雄選別腹の価格差は小さくなってきております。
	初妊牛	4.8~5.8	弱含み	
	経産牛	4.0~5.0	横遣い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横遣い	帯広管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で95.3%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬分塊が中心となっております。初妊牛に関しては、需要が落ち込む夏分塊中の資源が取引されることから、価格は軟調に動くものと見込まれます。腹別については、雌雄選別腹は資源が少ない状況であり、資源確保に伴う需要も強く、しばらくは引き合いが強くなるものと考えられます。経産牛に関しては、資源はありまが、乳価値上げとギガファームの規模拡大により即戦力の需要が高まり、産乳の少ない牛は高値で取引される状況となっております。
	初妊牛	4.8~5.8	弱含み	
	経産牛	4.3~5.3	強含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	やや強含み	道北管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で94.5%、北見管内月計で92.6%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬分塊となり、初妊牛に関しては、資源頭数が前年並みにあることに加え、夏分塊中心の取引が移っていくため、相場は軟調な動きを見せると予想されます。F1腹の増加による、雌雄選別腹の資源減少で引き合いが多少強くなると予想されます。経産牛に関しては、即戦力の需要が高くなるため横遣いで推移すると予想されます。育成牛に関しては、道内での引き合いがあるためやや強含みで推移すると予想されます。
	初妊牛	4.5~5.5	やや弱含み	
	経産牛	2.8~3.8	横遣い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横遣い	道内の4月中旬までの生乳生産量前年比は94.8%の実績となっております。春本番となり、温かい日が続く北海道内となり、5月末からは放牧が始まる時期となりました。
	初妊牛	4.8~5.8	弱含み	5月の初妊牛動向といたしまして、夏分塊に移行するため全体では軟調に推移する見込みです。しかしながら、資源不足である雌雄選別腹や即戦力となる産乳の少ない経産牛などは需要が高くなる見込みです。また、道内外ともに、厳しい状況は続きながらも、乳価値上げによる導入意欲回復がある見込みのため、価格動向には注視しながら資源確保に向けていっていきたいと思っております。このような状況ですので、資源確保のため購入計画がございましてお早めにお近くの弊会担当者までご注文を頂きますようお願い致します。
	経産牛	3.5~4.5	横遣い	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
乳牛の導入計画がありましたら、取寄りの支所へご一報下さい。  
担当がお伺いし、最近の状況を説明し、納得いただいたよう購買のお手伝いを致します。  
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

《各事務所電話番号》  
 函館事務所 ☎(0154)52-1232  
 根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877  
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051  
 道北事務所 ☎(0165)2-2368

令和5年5月10日

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所  
酪農生産研究会

### 北米コンテナ船情勢

米国西海岸における北米西岸港湾労組(ILWU)と雇用主団体(PMA)の労使交渉は1年近く続いています。交渉は佳境を迎えています。4月は自動化が進むロサンゼルス港とロングビーチ港の一部のターミナルにおいて、PMAにより点検目的とされる機材の稼働停止や、労働者派遣プロセスの一方的な遅延があったため、コンテナの荷役効率が鈍化し、一部のコンテナ本船で遅延が発生しました。その後、5月2日に一部の報道でターミナル施設の自動化についての合意が報じられており、現在は賃金と年金給付に関する最終的な交渉が行なわれています。

### ビートパルプ

【米国】

22-23年産の製糖作業及びビートパルプの生産は5月中旬で終了する見込みです。ビートパルプの出荷については、米国内の鉄道会社における労働力不足の影響で製糖工場から、輸出向けの船積み地への輸送が満足にできない状況が続いており、スケジュールの遅延が発生しています。

23-24年産については播種作業が開始されていますが、産地では悪天候が続いており、作業は遅れています。例年5月上旬に終える播種作業は、今年は5月中旬から下旬まで掛かる見込みとなっています。

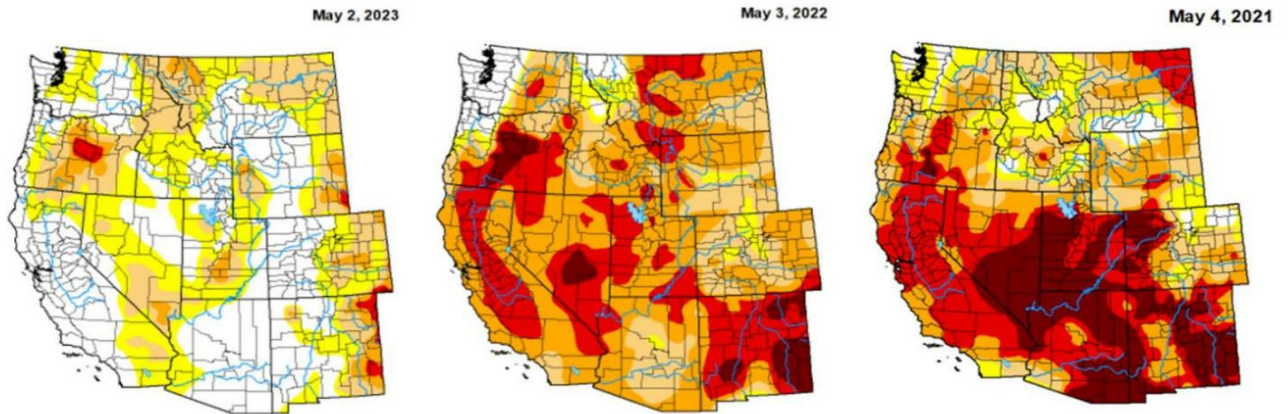
### 米国西部州における旱魃状況

22年産米国産乾牧草の高騰を招いた要因の一つである、西海岸の旱魃状況は改善しています。21年に西海岸全域において非常に厳しい旱魃に直面し、西部各州の酪農家及び肥育農家は、放牧草や購入粗飼料の在庫がないまま、22年産の収穫期を迎えました。不足する在庫に加え、乳価も好調であったことから、特に酪農地帯であるカリフォルニアではアルファルファだけでなく、グラスハイにおいても旺盛な買付が行なわれ、需要が他州に伝播し、結果として22年産の産地相場上昇につながりました。

昨年の秋口以降においては、西海岸全域で多くの降雪及び降雨があったため、旱魃状況は改善しています。この結果、放牧草も順調に生育しており、内需においてもグラ



スヘイの需要は落ち着いています。一方、スーダンやクレイングラスの主産地である、インペリアルバレーでは、水源となるフーバーダム貯水量は歴史的に低水位な状況に変わりありません。このため、これまでのように潤沢に農業用水の使用ができない可能性があるため、今後も注視が必要です。



(米国西部州における5月上旬の旱魃状況の比較。左から2023年、中央2022年、右2021年。赤いほど旱魃は深刻な状況。 出典：Drought Monitor)

## アルファルファ

### ワシントン州

コロンビアベースンでは、例年よりも冷涼な気候が続いており、23年産の生育は例年に比べて2～3週間遅れており、5月下旬からコロンビアベースン南部にて1番刈の収穫が開始される見込みです。

22年産は歴史的な高値となった産地相場の影響で、日本、韓国向けだけでなく、年明け以降、中国向けの出荷も低調なことから、産地の輸出業者は例年以上に多くの繰り越し在庫を抱えている状況です。23年産の1番刈は各輸出業者、各国の需要を見ながらの買付になることが予想されています。また州内の酪農家におけるアルファルファ需要は、23年産においても上級品に対しては引き続き一定の需要が見込まれていますが、中級品以下については、需要も落ち着いており、産地相場の軟化が期待されています。



(23年産1番刈アルファルファ圃場 5月上旬コロンビアベースンにて撮影)

## カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーではアルファルファの収穫は2番刈の収穫作業が行われています。収穫期の不安定な天候の影響で雨当たり品も発生しましたが、昨年のような内需並びに輸出向けの需要がないことから、産地相場は前年同時期比で軟化傾向にあります。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、4月15日時点でのアルファルファの作付面積は152,868エーカー(前年同期は133,608エーカー)と前年同期比114%と増加しており、過去10年間で最高水準の作付面積となっています。

## 米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバーグでは、春先に冷涼な気候が続いたものの、順調に生育しており、23年産1番刈の収穫はコロンビアベースン南部で5月下旬より開始される見込みです。23年産の作付面積については、コロンビアベースンやアイダホ州では前年比5~10%程度減少すると予想されています。

22年産は歴史的な高値から需要が急激に鈍化し、産地の多くの輸出業者で22年産の旧穀在庫を抱えています。出荷量も減少し資金繰りも厳しくなっていることから、生産農家への支払いが滞るケースも増えています。

21年産までの過去数年の産地相場は、輸出側にとって魅力的であったことから、新規輸出業者の参入が見られました。これらの新規輸出業者は固定客がないため、顧客獲得のため、古参の輸出業者よりも安価な価格帯で供給をしていましたが、他方で買付業者が増えたことにより、産地での買付が激化し、結果として産地相場が必要

以上に過熱する形となりました。直近では、新規参入した輸出業者を中心に、一時的な工場の閉鎖や、週2日程度まで稼働を減らしており、工場の操業に苦慮しています。



(23年産1番刈チモシー圃場 5月上旬エレンズバーグにて撮影)

### スーダングラス

カリフォルニア州南部インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月1日時点での作付面積は20,704エーカー(前年同期は29,968エーカー)となっており、前年同時期比69%と、この時期としては過去10年間で最低の水準となっています。早播き品の作付面積減少により、この時期に発生する上級品の発生量が限られる可能性があります。一方で産地の輸出業者は例年以上の繰越在庫を抱えているため、23年産は慎重に買い付けを進めると予想されており、産地相場は22年産比で軟化することが期待されています。スケジュールの早い圃場では5月後半から収穫作業が開始される見込みです。

### クレイングラス(クレインは全酪連の登録商標です)

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレー灌漑局の発表によると、4月15日時点でのクレイングラスの作付面積は21,983エーカー(前年同期19,983エーカー)となっており、前年同時期比114%と増加しています。22年産の産地相場が生産農家にとって魅力的であったことが作付面積増加の要因と考えられています。一方で、産地の多くの輸出業者において、22年産の繰り越し在庫を例年以上に保有していることに加え、西海岸全域で早魃が改善されたことから、内需向けの需要が減少しており、23年産の相場は軟化することが期待されています。

23年産はスケジュールの早い圃場で掃除刈り(クリッピング)が4月下旬頃から開始されていますが、収穫されたものは雑草混じりで輸出向けには適さないため、近隣の酪農家及び肥育農家向けに出荷されています。輸出向け品質の収穫は5月中旬頃から本格化する見込みです。

## バミューダ

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーにおける4月15日時点の作付面積は64,704エーカー（前年同期61,503エーカー）と前年同期比105%の作付面積となっています。種子に対する旺盛な需要が作付面積の増加要因となっており、23年産の序盤は例年どおり種子用の生産がメインとなり、ヘイの収穫は限定的となる見込みです。

## ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

22年産ライグラスストローは、日本、韓国向け荷動きが鈍化しているため現地で余剰在庫となっており、産地相場は年明け前に比べ、軟化傾向にあります。

## カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区の23年産の作付面積は、前年並みとなる見通しです。産地では冷涼な気温が続いており、4月に入っても夜間に0℃を下回る日が続き、降雪も散見されました。また今春は例年より降雨量が少なかったため、今後の生育期に向け、適度な降雨が必要な状況です。

同州南部のレスブリッジ地区の作付面積も、クレモナ地区同様、前年並みとなる見込みです。気温は4月になっても氷点下が続き降雪もありましたが、乾燥した気候が続き土壌水分は少なく、生育に遅れが出ています。

## 豪州産オーツハイ

西豪州では5月上旬より23年産の播種作業が本格化しています。土壌水分が重要になる時期ですが、降雨量は地域によってバラつきが出ており、この先3-4週間において、まとまった降雨の予報が出ていているため、今後の天候が期待されています。作付面積については、直近穀物相場が軟調なことを受け、オーツハイの作付意欲は強く、地域によっては、前年比で最大20%程度増加する見込みです。

南豪州と東豪州では、この先、数週間のうちに、播種作業が開始されます。輸出業者と生産者の間で、事前契約が進められていますが、生産者からの聞き取りでは、東豪州では最大30%程度、南豪州では10%程度、オーツハイの作付面積が前年比で増加する見込みとなっています。

輸出需要については、各国から強い引き合いが続いています。内需向けについては、22年産が不作となった東豪州において、自給飼料の不足する生産者からの引き合いが増えており、低級品でも輸出向けよりも高値で売買されています。

以上